

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎柔道整復学・総論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 月曜1限目	教室名	第2校舎201
担 当 教 員	林 了大	実務経験と その関連資格	接骨院の院長(柔道整復師)として、1999年～2014年勤務経験あり。 公益法人兵庫県柔道整復師会 阪神南支部の役員を2008年～2014年まで務めた。			
《授業科目における学習内容》						
向上を目指して下記のことを中心に教授する。 1.各組織の損傷 2.評価 3.下肢骨折[骨盤骨骨折]						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験: 100% 2. レポート: % 3. グループワーク中の態度・発表: %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
講義柔道整復学 理論編 改定第6版、柔道整復学 実技編 改定第2版						
《授業外における学習方法》						
国家試験科目なので、授業での予習・復習はして欲しい。また、単元毎に小テストを実施するため配布プリントや板書などまとめておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
柔道整復学は国家試験にて問題数が最も多い科目になります。非常に重要な科目ですので、しっかりと、復習をしていってください。わからない言葉や内容が有りましたら遠慮せずに質問してください。頑張ってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	スケジュールと授業内容、柔道整復学	柔道整復学・理論	オリエンテーション資料	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、関節の形態、構造			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節の損傷を知ることができ、損傷分類と処置を知ることができる	柔道整復学・理論	関節の形態と構造を確認しておく	
		各コマにおける授業予定	関節の損傷と初期処置			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節損傷の分類と処置の復習、観血療法を知ることができる	柔道整復学・理論	関節損傷・分類を確認しておくこと	
		各コマにおける授業予定	関節の損傷と初期処置			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋・腱・筋の補助装置を知ることができる。症状を知ることができる	柔道整復学・理論	筋・腱の構造を確認しておくこと	
		各コマにおける授業予定	筋・腱の損傷と初期処置			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	分類・症状・治癒機序・予後を知ることができる	柔道整復学・理論	損傷の分類を確認しておくこと	
		各コマにおける授業予定	筋・腱の損傷と初期処置			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 末梢神経の構造・機能、損傷の概説を知ることができる	柔道整復学・理論	末梢神経の機能と構造を確認しておくこと
		各コマにおける授業予定 末梢神経の損傷と初期処置		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 末梢神経損傷の症状と分類、治癒機序を知ることができる	柔道整復学・理論	セドンの分類、サンダーランドの分類を確認しておくこと
		各コマにおける授業予定 末梢神経の損傷と初期処置		
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標 測定方法を知ることができる	柔道整復学・実技	角度計の使い方、注意事項を確認しておくこと
		各コマにおける授業予定 下肢長の測定(実技)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 骨盤の機能・構造、分類を知ることができる	柔道整復学・理論	骨盤の解剖、付着する筋
		各コマにおける授業予定 骨盤の解剖、骨盤骨骨折の概要、分類、SMDとTMD		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 骨盤骨単独骨折について知ることができる	柔道整復学・理論	骨盤の解剖、付着する筋
		各コマにおける授業予定 デュベルニー骨折、恥骨、坐骨、仙骨単独骨折		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 骨盤骨単独骨折について知ることができる	柔道整復学・理論	骨盤の解剖、付着する筋を確認しておくこと
		各コマにおける授業予定 単独骨盤骨折、裂離骨折、上前腸骨棘裂離骨折、下前腸骨棘裂離骨折		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 骨盤骨単独骨折について知ることができる	柔道整復学・理論	骨盤の解剖、付着する筋を確認しておくこと
		各コマにおける授業予定 坐骨結節裂離骨折、腸骨稜裂離骨折、国家試験問題		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 骨盤骨単独骨折・骨盤骨裂離骨折について知ることができる	柔道整復学・理論	疲労骨折、脆弱性骨折を確認しておくこと
		各コマにおける授業予定 恥骨下枝疲労骨折、骨盤脆弱性骨折、骨盤輪骨折		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 骨盤輪骨折分類について知ることができる	柔道整復学・理論	骨折・脱臼、仙腸関節を確認しておくこと
		各コマにおける授業予定 骨盤輪骨折分類、straddle骨折、マルゲーニョ骨折、国家試験問題		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 前期講義内容の理解度の確認を行い各項目ごとに理解できている	柔道整復学・理論	理解できていない部分、後期履修に向けて、テキストを用いて確認を行なっておくこと
		各コマにおける授業予定 前期全講義のまとめを行う		